

特別講演 1

「高血圧ガイドライン (JSH2025) を踏まえた厳格降圧の実践 － ARNI を上手に活かす －」

石切生喜病院副院長 兼 教育研修センター長
堀尾 武史 先生

昨年改訂された高血圧管理・治療ガイドライン (JSH2025) では、すべての高血圧患者に対する降圧目標が診察室血圧 130/80 mmHg 未満、家庭血圧 125/75 mmHg 未満に一本化された。わが国では降圧薬として Ca 拮抗薬と ARB の使用割合が非常に高いが、一方でわが国における降圧目標の達成率はまだまだ低く、その背景には食塩感受性（塩分摂取に伴い血圧が上昇しやすい病態）があると考えられる。

ARNI (angiotensin II receptor-neprilysin inhibitor) は、従来の ARB の働きにナトリウム利尿すなわち塩分排出効果も併せ持つことにより、血圧コントロールが容易でない食塩感受性高血圧患者等の夜間～早朝血圧コントロールにも有効である。日常診療では、ARB からの切り替えや Ca 拮抗薬への上乗せなどを軸に、比較的早期の段階から幅広く使用できる降圧薬であり、ARNI を高血圧の日常診療にうまく用いることで、現行ガイドラインに示された厳格な降圧目標の達成率向上が期待される。